

日本地域学会ニューズレター

2019年 no.1

2019年2月28日

目 次

I. 会長挨拶	...	2
II. 役員人事等	...	3
III. 第56回日本地域学会年次大会(2019年9月13~15日)のご案内 論文報告の募集,シンポジウムについて	...	6
IV. 総会報告 北海学園大学で開催された日本地域学会総会についての報告	...	7
V. 理事会報告 平成30年度第5-7回及び2019・2020年期新理事会	...	8
VI. 委員会報告	...	11
1. 名誉会員推薦委員会(平成30年度第1回についての報告)		
2. 優秀発表賞選考委員会(受賞者の紹介)		
3. 機関誌編集委員会(第61回についての報告)		
VII. 会費納入のお願い 2019年度会費請求額,会費早期納入の特典,Web会員について	...	13
VIII. 国際地域学会関連会議のお知らせ	...	14
IX. 学会賞候補者推薦の募集	...	14
X. 会員の移動	...	15
『地域学研究』バックナンバー申込書	...	17
正会員入会申込書	...	18

注意：2019年度会費請求書が同封されています。

(納入期限 2019年3月末日)

I. 会長挨拶

日本地域学会会長
高橋秀悦

昨年 12 月 16 日に開催されました 2019-2020 年期の新理事会におきまして、新理事の皆様のご推挙により、日本地域学会会長を務めさせていただくことになりました。これまで 30 年以上にもわたって会員の皆様からご指導ご鞭撻をいただきましたが、本学会の活動に対しては十分な寄与ができずに心苦しく思っておりました。もとより浅学非才の身ではありますが、副会長の松本昭夫先生、戸田常一先生、徳永澄憲先生および新理事の先生方のご協力を賜り、微力ではありますが、精一杯、日本地域学会のよりいっそうの発展に尽力する所存でありますので、よろしく願い申し上げます。また、日本地域学会会則により、事務局は、筑波大学生命環境系水野谷研究室におかれています。事務局長・総務担当常任理事に水野谷剛先生、財務担当常任理事に櫻井一宏先生、庶務担当常任理事に渋谷博幸先生に、引き続き、ご就任いただくことになりましたので、ご報告させていただきます。

周知のように、地域科学 (Regional Science) は、地域に関する種々の事象を総合的に学際的に研究・分析する学問分野ですが、現実的な解決策も提示することも求められる分野でもあります。日本地域学会は、このような地域科学の進歩発展に貢献することを目的し、また、相互の研究交流の場として、今野源八郎先生、米谷栄二先生、大石泰彦先生らが中心となり高度経済成長期の 1962 年に設立されました。設立当初から、現在の国際地域学会 (RSAI, Regional Science Association International) の前身である RSA (Regional Science Association) の Japan Section として位置づけられた学会でもありました。28 名が出席しての設立総会でしたが、今や、経済、地理、交通、生命、環境、開発、都市計画、農学等、さまざまな分野の研究者が入会され、会員数も 1,000 名を越えるまでになりました。歴代会長をはじめ、会員の皆さんの献身

的なお働きに感謝申し上げます。

この間、多数のハイ・クオリティの研究成果が発表され、学会誌名も、研究の質・量に対応すべく、『地域学年報』から『地域学研究』へと変わりました。周知の『地域学研究』は、1970 年の創刊から半世紀の間、絶えることなく刊行され、本年 8 月には、第 49 巻が刊行予定となっています。

近年、研究業績評価においては、国際的な学術雑誌に掲載された論文が高く評価される傾向があります。本学会では、これに対応すべく、会員の研究成果を英語論文として公刊できるようにするために、ふたつの新たな企画を立ち上げています。2017 年から、英文機関誌 *Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS)* を Springer 社から刊行し、本年度で 3 年目になります。『地域学研究』同様、論文の投稿をお願いいたします。また、*New Frontiers in Regional Science: Asian Perspectives* シリーズが同じ Springer 社から刊行されていますが、本学会はこの編集に協力し、刊行数は、すでに 25 点にのぼっています。英語の学術研究書の出版を予定されている会員におかれましては、積極的に Editor in Chief の氷鉋揚四郎先生までお申し出いただけると幸いです。

本学会は、河野博忠先生と氷鉋揚四郎先生が RSAI の会長にご就任されるなどの精力的なご活躍があり、地域科学研究の国際ネットワーク (RSAI や PRSCO) の一翼を担い、これらの発展に大きく貢献してきました。APJRS や *New Frontiers* シリーズの刊行は、会員の皆さんの研究成果の国際的な発信の強化と海外の研究者との交流の促進のためのプラットフォームとして期待される場所ですが、この国際ネットワークをより強固にする役割を果たすものと確信しております。

他方、地域科学は、地域の種々の課題に対して現実的な解決策を示すことも求められています。我が国では、グローバル化の進展により、地域間交流・連携が進み、活性化する地域

が生まれる一方で、地域経済の停滞や少子高齢化等によって限界集落の問題が顕在化していますし、将来的には人口減による自治体消滅といった問題も抱えています。年次大会の公開シンポジウムのテーマ（「人口減少時代の地域づくり（2018年度、北海学園大学）」、「歴史都市の保全と継承政策（2017年度、立命館大学）」に見られるように、地域ごとに解決すべき問題自体が異なりますし、また、政策課題への対応が可能な分野は、地域科学研究の全体からすれば、限定された分野に過ぎませんが、政策対応を視野に入れた研究の推進が絶えず求められるところでもあります。

最後に、日本地域学会の発展のために、皆様によりいっそう魅力的な研究活動の場を提供することを申し上げ、会長挨拶とさせていただきます。

II. 役員人事等

2019・2020 年 期日本地域学会事務局、各種委員会等の構成及び交代についてお知らせいたします。

1. 日本地域学会事務局

会長

高橋 秀悦（東北学院大学）

副会長

松本 昭夫（中央大学）

徳永 澄憲（麗澤大学）

戸田 常一（広島大学）

総務担当常任理事（事務局長）

水野谷 剛（筑波大学）

財務担当常任理事

櫻井 一宏（立正大学）

庶務担当常任理事

渋澤 博幸（豊橋技術科学大学）

理事

朝日 ちさと（首都大学東京）

浅見 泰司（東京大学）

阿部 宏史（岡山大学）

石橋 健一（名古屋産業大学）

内田 晋（茨城大学）（APJRS 担当）

岡村 誠（学習院大学）

鐘ヶ江 秀彦（立命館大学）

木南 莉莉（新潟大学）

國光 洋二（農業・食品産業技術総合研究機構）

齋藤 参郎（福岡大学）

佐々木 啓介（東洋大学）

鈴木 聡士（北海学園大学）

高野 伸栄（北海道大学）

多和田 眞（愛知学院大学）

中山 恵子（中京大学）

野崎 謙二（駿河台大学）

氷鮑 揚四郎（筑波大学名誉教授）（企画担当）

福井 秀夫（政策研究大学院大学）

細江 守紀（熊本学園大学）

正岡 利朗（高松大学）

三友 仁志（早稲田大学）

柳原 光芳（名古屋大学）

吉田 登（和歌山大学）

監事

藪田 雅弘（中央大学）

梶井 昌邦（福岡大学）

名誉理事

河野 博忠（筑波大学名誉教授）

酒井 泰弘（筑波大学名誉教授、滋賀大学名誉教授）

臼井 功（横浜国立大学名誉教授）

原 勲（北星学園大学名誉教授）

加賀屋 誠一（北海道大学名誉教授）

藤岡 明房（立正大学）

三橋 博巳（日本大学）

第 56 回（2019 年）年次大会準備委員会及び実行委員会

委員長：秋本 耕二（久留米大学）
副委員長：浅見 良露（久留米大学）

学術委員会

委員長：細江 守紀（前出）
副委員長：藪田 雅弘（前出）
副委員長：鐘ヶ江 秀彦（前出）

広報委員会

委員長：水野谷 剛（前出）
副委員長：石橋 健一（前出）
副委員長：黛 陽子（文教大学）

名誉会員推薦委員会

委員長：臼井 功（前出）
副委員長：水野谷 剛（前出）

機関誌編集委員会

委員長：多和田 眞（前出）
副委員長：松本 昭夫（前出）
副委員長：浅見 泰司（前出）
副委員長：木南 章（前出）

Managing Editor: 氷鮑 揚四郎（前出）

学会賞選考委員会

委員長：酒井 泰弘（前出）
副委員長：水野谷 剛（前出）

学会幹事(会則第 18 条第 6 項)

(1) 事務局幹事

総務・財務・庶務担当常任理事付

内藤 徹（前出）
野崎 乃倫子（筑波大学）

(2) 委員会幹事

学術委員会

小川 健（専修大学）

名誉会員推薦委員会

黛 陽子（前出）

機関誌編集委員会

小川 健（前出）
内藤 徹（同志社大学）
黛 陽子（前出）
森岡 理紀（農業・食品産業技術総合研究機構）
野崎 乃倫子（前出）

学会賞選考委員会

黛 陽子（前出）
森岡 理紀（前出）

広報委員会

小川 健（前出）
内藤 徹（前出）
黛 陽子（前出）
森岡 理紀（前出）
野崎 乃倫子（前出）

事務局 事務秘書

川本 桂子（筑波大学生命環境系水野谷研究室）

事務局所在地

筑波大学 生命環境系 水野谷研究室内
〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1
tel/fax +81-29-853-7221
sec@jsrsai.jp

2. 第 56 回（2019 年）年次大会準備委員会及び 実行委員会

委員長：秋本 耕二（前出）
副委員長：浅見 良露（前出）
委員

加藤 淳一（久留米大学）
境 和彦（久留米大学）
野崎 竜太郎（久留米大学）

3. 学術委員会

委員長：細江 守紀（前出）
副委員長：藪田 雅弘（前出）
副委員長：鐘ヶ江 秀彦（前出）

委員

櫻井 一宏（前出）
渋澤 博幸（前出）
鈴木 聡士（前出）
多和田 眞（前出）
水野谷 剛（前出）

幹事:

小川 健（前出）

4. 広報委員会

委員長：水野谷 剛（前出）

副委員長: 石橋 健一 (前出)

副委員長: 黛 陽子 (前出)

委員

梶井 昌邦 (前出) (西部)

櫻井 一宏 (前出)

渋谷 博幸 (前出) (東部)

松本 昭夫 (前出)

三友 仁志 (前出)

幹事

小川 健 (前出)

内藤 徹 (前出)

黛 陽子 (前出)

森岡 理紀 (前出)

野崎 乃倫子 (前出)

5. 名誉会員推薦委員会

委員長: 臼井 功 (前出)

副委員長: 水野谷 剛 (前出)

委員

櫻井 一宏 (前出)

渋谷 博幸 (前出)

氷鮑 揚四郎 (前出)

幹事

黛 陽子 (前出)

6. 機関誌編集委員会

委員長: 多和田 眞 (前出)

副委員長: 松本 昭夫 (前出)

浅見 泰司 (前出)

木南 章 (前出)

Managing Editor: 氷鮑 揚四郎 (前出)

委員

秋本 耕二 (前出) (規程第3条第6号)

石橋 健一 (前出)

内田 晋 (前出)

鐘ヶ江 秀彦 (前出)

木南 莉莉 (前出)

酒井 泰弘 (前出)

櫻井 一宏 (前出) (規程第3条第4号)

佐々木 啓介 (前出)

渋谷 博幸 (前出) (規程第3条第5号)

鈴木 聡士 (前出) (規程第3条第6号)

高橋 秀悦 (前出)

徳永 澄憲 (前出)

戸田 常一 (前出)

野崎 謙二 (前出)

藤岡 明房 (前出)

細江 守紀 (前出)

水野谷 剛 (前出) (規程第3条第3号)

三友 仁志 (前出)

柳原 光芳 (前出)

吉田 登 (前出)

顧問:

Peter Batey (University of Liverpool)

Tüzin Baycan (Istanbul Tech. Univ.)

Kingsley Haynes (George Mason Univ.)

Geoffrey Hewings (University of Illinois)

Lars Lundqvist (Royal Inst. of Tech.)

Gordon Mulligan (Univ. of Arizona)

Peter Nijkamp (Jheronimus Academy of
Data Science)

David Plane (University of Arizona)

Jacques Poot (University of Waikato)

Roger Stough (George Mason University)

幹事

小川 健 (前出)

内藤 徹 (前出)

黛 陽子 (前出)

森岡 理紀 (前出)

野崎 乃倫子 (前出)

7. 学会賞選考委員会

委員長: 酒井 泰弘 (前出) (第6号)

副委員長: 水野谷 剛 (前出) (第3号)

委員

朝日 ちさと (前出) (第4号)

河野 博忠 (前出) (第6号)

櫻井 一宏 (前出) (第3号)

渋谷 博幸 (前出) (第3号)

多和田 眞 (前出) (第4号)

徳永 澄憲 (前出) (第 2 号)
氷鮑 揚四郎 (前出) (第 4 号)
藤岡 明房 (前出) (第 6 号)
高橋 秀悦 (前出) (第 1 号)
細江 守紀 (前出) (第 4 号)
松本 昭夫 (前出) (第 4 号)
三友 仁志 (前出) (第 4 号)
藪田 雅弘 (前出) (第 5 号)

幹事

黛 陽子 (前出)
森岡 理紀 (前出)

8. Council of RSAI and Council of PRSCO

(国際地域学会及び環太平洋地域学大会機構
評議会)

RSAI Council

Councilor: 木南 莉莉 (前出)

PRSCO Council

Councilor & Executive Secretary:

渋澤 博幸 (前出)

Councilor :

木南 莉莉 (前出)
渋澤 博幸 (前出)
徳永 澄憲 (前出)
鐘ヶ江 秀彦 (前出)

9. 日本経済学会連合

評議員 (日本地域学会選出)

鐘ヶ江 秀彦 (前出)
渋澤 博幸 (前出)

「日本経済学会連合 英文年報」への日本地域
学会分の担当係

編集委員: 佐々木 啓介 (前出)
執筆担当: 渋澤 博幸 (前出)

10. 地理学会連合

担当: 櫻井 一宏 (前出)
藪田 雅弘 (前出)

Ⅲ. 第 56 回日本地域学会年次大会(2019 年 9 月 13~15 日)のご案内

2019 年度日本地域学会第 56 回年次大会は、
久留米大学において下記の通り開催されます。
会員諸賢におかれましては、論文報告、特別セッ
ションの編成等、奮ってご参加下さい。

※例年より 1 か月早い開催となりますのでご注
意下さい。

記

開催日: 2019 年 9 月 13 日(金)~15 日(日)

開催校: 久留米大学

会場: 久留米大学御井学舎

〒839-0851 福岡県久留米市御井町 1 6 3 5

大会準備委員会: 委員長 秋本耕二 (久留米大
学教授)

セッション:

共通論題

- a) 地域経済・地域雇用
- b) 産業集積・情報
- c) 環境評価・環境政策
- d) 地域環境・地球環境
- e) 国際経済政策
- f) 交通・コミュニケーション
- g) 経済分析・モデル分析
- h) 意識分析・行動分析
- i) 地方分権・地方財政・道州制
- j) 持続可能都市・地域システム
- k) 都市再生・地域再生
- l) 沿岸域管理・海洋政策
- m) ツーリズム
- n) アジア経済

一般論題

立地、人口移動、地域経済等の地域学一般の課
題すべて

公開シンポジウム:

テーマ (仮)河川流域圏における地域づくりと
経済の活性化

以上

論文報告・特別セッション編成の募集

論文報告と特別セッションの編成を希望される方は、下記の事項を明記し、日本地域学会事務局へ e-mail で応募して下さい。応募締切は2019年4月26日(金)です。なお申込書は3月より学会のホームページからダウンロードできる予定です。

[論文報告] 応募の必要事項

1. 論文タイトル
2. 上記が和文の場合には、同英文訳
3. 著者名、所属(複数の場合には発表者を明記)
4. 同上英文表記
5. Abstract 和文(700字以内)および英文(200words以内)の双方を提出
6. 対応責任者氏名、連絡先住所、tel, fax, e-mail アドレス等
7. 希望討論者2名(会員に限る。必ずしも希望通りとならないことをあらかじめご承知おき下さい)

[特別セッション編成] 応募の必要事項

1. セッションタイトルおよびセッションの意図、内容等の概要(和文300字以内、英文100words以内)
2. 座長(1-2名の会員)氏名、所属、同英文表記
3. 1セッション当たり3-4編の報告を目途に、各論文についての上記論文報告希望に準ずるデータ。但し、討論者は各々の論文について1名でも可。
4. 応募責任者氏名、連絡先住所、tel, fax, e-mail アドレス等

論文報告等に関する問い合わせおよび応募は、次の日本地域学会事務局宛にお願いします。

筑波大学生命環境系

水野谷研究室内

日本地域学会事務局

〒305-8572 つくば市天王台1-1-1

tel, fax: 029-853-7221

メールによる応募: app@jsrsai.jp

メールによる問合せ: sec@jsrsai.jp

応募申込書の入手: <http://jsrsai.jp/ja/>

年次大会の参加申込み

大会および懇親会の参加申込み方法は、次号のニューズレターおよび学会HPにて公表する予定です。

学会HP: <http://jsrsai.jp/ja/>

IV. 総会報告

平成30年度総会が去る平成30年10月7日13時15分より、第55回(2018年)年次大会の会場である北海学園大学で開催されました。細江会長(熊本学園大学特任教授)挨拶の後、同会長を議長として審議および報告が行われました。つづく学会賞授与式では、酒井泰弘委員長からの経過報告の後、細江会長より受賞者に各賞が授与され、総会は無事閉会しました。当日の次第、審議及び報告の内容は以下の通りです。

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 議題
 - 1) 新入会員・退会希望者の承認
水野谷総務担当常任理事より新入会員31名、退会希望者41名について報告があり、これを承認。
 - 2) 平成29年度の事業報告の承認
水野谷総務担当常任理事より報告があり、これを承認。
 - 3) 平成29年度の収支決算の承認
櫻井財務担当常任理事より報告があった後、梅井監事より監査が完了している旨報告があり、これを承認。
 - 4) 平成31年度の事業計画の承認
水野谷総務担当常任理事より報告があり、これを承認。
 - 5) 平成31年度の収支予算の承認
櫻井財務担当常任理事より報告があり、

- これを承認。
- 6) 平成 30 年度の収支予算（修正案）の承認
櫻井財務担当常任理事より報告があり、これを承認。
 - 7) 2019・2020 年 期 理 事 候 補 者 の 承 認
水野谷総務担当常任理事より理事候補者の報告があり、これを承認。
 - 8) 第 56 回(2019 年)年次大会の開催地、開催校等の承認
水野谷総務担当常任理事より久留米大学で行うことが報告され、これを承認。
この後、久留米大学を代表して野崎竜太郎会員が挨拶を行った。
 - 9) 第 57 回(2020 年)年次大会の開催地、開催校等の取扱いの承認
水野谷総務担当常任理事より東日本で候補を選定中であることが報告され、これを承認。
 - 10) 会則の改正の承認（事務局所在地名称の変更）
水野谷総務担当常任理事より、会則における事務局所在地名称の変更についての説明があり、これを承認。
 - 11) その他
4. 報告
- 1) 『地域学研究(48 巻)』の編集
木南(章)機関誌編集委員長より編集状況の報告があった。
 - 2) Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS)について
氷鮑企画担当より編集状況についての報告があった。
 - 3) RSAI の動向
渋澤理事より、最近の RSAI の動向について報告があった。
 - 4) PRSCO の動向
渋澤理事より、最近の PRSCO の動向について報告があった。
 - 5) その他
5. 学会賞授与式

- 1) 選考経過報告
酒井委員長より学会賞選考委員会における選考経過について説明があった。
 - 2) 第 27 回 学会賞授与
細江会長より以下の各賞が授与された。
奨励賞：佐々木翼
著作賞：徳永澄憲,木南莉莉,國光洋二
学位論文賞(博士)：高島伸幸,酒井宏平
熊田禎宣賞(修士)：伊藤大輔
H29 最優秀発表賞(第 10 回)：中山拓
 - 3) 受賞者挨拶
各賞の代表者による受賞挨拶があった。
6. その他
7. 閉会の辞

V. 理事会報告

平成 30 年度 日本地域学会 第 5 回理事会(持回り)

日 時：平成 30 年 9 月 3 日 (月) 15:00

議 題 日本環境共生学会主催シンポジウム

「四日市から考える地球と人の未来」

後援名義使用の件

上記後援名義使用を許可する件につき審議に付し、承認が得られた。

平成 30 年度 日本地域学会 第 6 回理事会

日 時：平成 30 年 10 月 6 日 (土) 13:00-15:00

場 所：北海学園大学 4 号館 10F 第 3 会議室

出席者：石橋,内田鐘ヶ江,木南(莉),國光,櫻井,斎藤,渋澤,鈴木,戸田,野崎,氷鮑,細江,水野谷,柳原,吉田の各理事(ただし,高橋,萩原,松本,浅見,阿部,岡村,近藤,佐々木,多和田,徳永,中山,福井の各理事より委任状付託;以上理事 29 名出席); オブザーバとして藪田監事,白井名誉会員推薦委員長,河野顧問,酒井学会賞選考委員長,木南(章)機関誌編集委員会副委員長,小川,内藤,黛,森岡の各幹事;川本事務局秘書

議題

1. 新入会員・退会希望者の承認

細江会長より、個人会員(10名)の入会希

望と個人会員（5名）の退会希望があった旨報告があり、これを審議した結果、総会に諮る事を諒承された。この結果、正会員 1,037名、法人会員 6団体となった。

2. 平成 29 年度監査報告

梶井監事より滞り無く終了した旨説明があり、これを諒承。

3. 第 55 回(2018 年)年次大会の運営

鈴木理事より第 55 回（2018 年）年次大会について説明があり、これを諒承。

水野谷総務担当常任理事より、発表取り下げ及び追加があったため合計発表数が 111 件となったこと及び座長、討論者のキャンセルについての説明があり、これを諒承。

水野谷総務担当常任理事より、10 月 7 日に行われる総会についての説明があり、これを諒承。

4. 2019・2020 年期理事候補者名簿

水野谷総務担当常任理事より 2019・2020 年期理事候補者についての説明があり、これを諒承。

5. 年次大会次期開催地・開催校について

水野谷総務担当常任理事より久留米大学で行うことが報告され、これを諒承。この後、久留米大学を代表して野崎竜太郎会員が挨拶を行った。

6. 年次大会次々期開催地・開催校について

水野谷総務担当常任理事より、東日本における開催について検討したい旨の説明があり、これを諒承。

7. その他

災害割引について

水野谷総務担当常任理事より、自然災害被災に係わる会費割引の検討についての提案及び説明があった。加えて、細江会長より、年次大会開催時に自然災害があった場合の、開催の可否判断や参加費の取り扱い、発表登録者の発表の取り扱い等について検討することが提案され、石橋理事を中心にこれを検討することが、諒承された。

報告事項

1. 平成 30 年度理事会（持ち回り）第 5 回

細江会長より環境共生学会よりシンポジウム開催講演依頼に関して報告があった。

2. 『地域学研究』第 48 巻の編集

水野谷総務担当常任理事より掲載論文について報告があった。

3. 博士論文賞の審査結果について

酒井学会賞選考委員長より、博士論文賞の審査結果について報告があり、これを諒承。2名の会員に授賞することが賞決定した。

4. Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS)について

氷鉤企画担当理事より、APJRS の投稿状況、特集号、サーベイ論文等に関して報告があった。

5. New Frontiers in Regional Science: Asian Perspectives (NFRSAP)について

氷鉤企画担当理事より、NFRSAP に関して報告があり、故宮田譲先生特集号に関して理事によるエッセイ寄稿の呼びかけがあった。

6. RSAI の動向

木南（莉）理事及び氷鉤企画担当理事より、RSAI の動向について報告があった。

7. PRSCO の動向

渋澤庶務担当常任理事より、最近の PRSCO の動向と今後の大会予定について報告があった。また氷鉤企画担当理事より、東アジアにおける RSAI と PRSCO の動向について報告があった。

8. その他

水野谷総務担当常任理事より、今後の理事会日程の確認がされた。

黛幹事より、「学術著作権協会の転載・権利委託手続き」に関する説明会出席について当日の内容についての報告があった。

平成 30 年度 日本地域学会 第 7 回理事会

日時：平成 30 年 12 月 16 日（日）13:00-15:00

場 所：学術総合センター会議室 2 階会議室
202・203

出席者：細江,高橋,櫻井, 渋澤, 内田,石橋, 岡村,
鐘ヶ江,木南(莉),國光,佐々木,鈴木,多和田,徳永,
三友, 柳原,氷鮑,松本,水野谷の各理事 以上理事
18 名出席 (ただし,萩原, 松本, 浅見,阿部,近藤,
斎藤,戸田, 野崎 (謙),福井の各理事より委任状
付託) ; オブザーバとして臼井,河野,三橋の各顧
問,酒井顧問兼学会賞選考委員長, 藪田監事 ; 内
藤,森岡,小川,野崎 (乃), 黛の各幹事;川本事務局
秘書
議題

1. 新入会員・退会希望者の承認

水野谷常任理事より前回の理事会から今
回までの理事会まで新入会員, 退会希望者が
なかったことことが報告され, これを諒承。

2. 第 55 回年次大会会計報告

鈴木理事より報告があった。これに加え,
今後開催に係わる自然災害対策やそれに伴
う懇親会費の取り扱いに関する課題が提示
された。これを諒承。

3. 第 56 回 (2019 年) 年次大会準備委員会の構
成

細江会長より 56 回年次大会及び周辺宿泊
施設についての説明がなされた。これを諒承。

4. PRSCO 副会長(2020-2021)の選出について

氷鮑企画担当理事より,PRSCO 副会長選
出についての説明があった。2021 年大会の
実行委員長となる鐘ヶ江理事を推薦するこ
とが提案され,これを諒承。

5. PRSCO 事務局長(2020-2021)の選出について

氷鮑企画担当理事より, PRSCO 事務局長
(2020-2021)の選出について説明があり, 渋
澤現事務局長の後任を今後検討することが
提案された。これを諒承。

6. 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構
国立大学教育研究評価委員会専門委員及び
機関別認証評価委員会専門委員の候補者の
推薦について

水野谷総務担当常任理事より,候補者の推

薦についての説明があった。

氷鮑理事より 2019-2020 年期の会長と副
会長を候補者として推薦することが提案さ
れ, これを諒承。

7. 『地域学研究』セット販売の推進

細江会長より, 『地域学研究』セット販売
の推進についての説明と依頼があり, これを
諒承。

8. 新入会員勧誘キャンペーンの推進

細江会長より新入会員勧誘キャンペーン
の推進について説明があり,これを諒承。

9. その他

なし。

報告事項

1. 『地域学研究』第 48 巻及び 49 巻の編集

多和田機関誌編集委員長より『地域学研究』
48 巻の掲載候補論文の選考と 2 月の発刊,
および 49 巻の 2019 年 8 月の発刊を目指し
ての進捗状況について報告があった。

2. Asia-Pacific Journal of Regional Science
(APJRS)について

氷鮑企画担当理事より,2019 年の 1 月の発
刊と次の号以降の投稿及び査読状況につい
て, さらに, その他特集号やサーベイ論文の
進捗状況について報告があった。オープンア
クセス権利であるトークン (ID とパスワー
ド) 配布が進められている旨の説明がされた。

3. 第 1 回名誉会員推薦委員会報告

臼井名誉会員推薦委員会委員長より, 多和
田会員を 36 代, 氷鮑会員を 37 代, 臼井会
員を 38 代名誉会員として次年度の総会に発議
することが報告された。これを諒承。

4. 第 2 回学会賞優秀発表賞選考委員会・第 5 回
学会賞選考委員会報告

酒井委員長より, 第 2 回学会賞優秀発表賞
受賞者についての報告があった。決定した 6
名の受賞者から最優秀発表賞を決める旨の
説明がされた。加えてその他の学会賞の論文
賞, 奨励賞, 学位論文賞等各賞の推薦依頼が
あった。

5. 日本経済学連合会 外国人学者招聘滞日補助及び国際会議派遣補助申請について

水野谷総務担当常任理事より、外国人学者招聘滞日補助及び国際会議派遣補助申請について日本経済学連合会による申請募集の説明がされた。学会が推薦をすることになっているため、希望者を募り、事務局へ連絡して欲しい旨が説明された。

6. RSAI の動向

渋澤理事より、最近の RSAI の動向と大会の状況及び今後の大会予定について報告があった。

7. PRSCO の動向

渋澤理事より、最近の PRSCO の動向と大会の状況及び今後の大会予定について報告があった。

8. その他

河野顧問より、会員の勧誘についての提案があった。

2019・2020 年 期 日本地域学会 新理事会

日 時: 平成 30 年 12 月 16 日(日) 15:00-15:30

場 所: 学術総合センター 2 階 会議室 202・203

出席者: 石橋, 内田, 岡村, 鐘ヶ江, 木南(莉), 佐々木, 櫻井, 渋澤, 鈴木, 高橋, 多和田, 徳永, 氷鮑, 細江, 正岡, 水野谷, 柳原の各理事(ただし, 浅見, 戸田, 野崎, 福井, 松本の各理事より委任状付託; 以上理事 22 名出席); オブザーバーとして河野, 臼井, 三橋, 酒井の各顧問; 川本事務局秘書

報告事項

1. 2019・2020 年 期 理事会の構成 (報告, 確認)

水野谷事務局長より 2019・2020 年 期 理事候補者について報告があった。新理事の正岡会員より自己紹介があった。

議題

1. 2019・2020 年 期 役員人事

細江, 酒井, 多和田会員より高橋会員を会長に推薦したいとの提案があり, これを諒承。高橋新会長より副会長として徳永会員,

戸田会員, 松本会員が推薦され, これを諒承。高橋新会長より総務担当常任理事として水野谷会員, 財務担当常任理事として櫻井会員, 庶務担当常任理事として渋澤会員が指名され, これを諒承。

その他の委員会構成などについては事務局に一任することが諒承された。

2. その他

1) 事務局より 2019 年度会議日程について報告があり諒承。

2) 鐘ヶ江会員から例年より 1 ヶ月早まる 2019 年度大会の発表報告申し込み時期について質問があり, 水野谷常任理事より, 発表報告申し込み時期を例年より 1 ヶ月前倒しすることが報告された。

VI. 委員会報告

1. 名誉会員推薦委員会報告

日本地域学会 H30 年度第 1 回名誉会員推薦委員会

日 時: 平成 30 年 12 月 16 日(日)10:00-10:30

場 所: 学術総合センター2 階 会議室 202・203

出席者: 臼井, 櫻井, 渋澤, 氷鮑, 水野谷の各委員 以上理事 5 名出席; 黛幹事; オブザーバーとして酒井顧問; 川本(事務局秘書)

議題

1. 名誉会員候補者について

臼井名誉会員推薦委員会委員長より, 氷鮑会員と多和田会員は名誉会員規程第 3 条の要件を満たすので, 名誉会員に推薦したい旨提案された。また氷鮑委員より臼井会員も上記要件を満たすので, 推薦したい旨提案された。協議の結果, 多和田会員を 36 代, 氷鮑会員を 37 代, 臼井会員を 38 代名誉会員として次年度の総会に発議することを理事会に提案することが決定された。

2. その他

臼井名誉会員推薦委員会委員長より, 学会 HP 中の名誉会員の名簿の叙勲受章に係わる

部分を削除したい旨提案があり、これを諒承。

2. 優秀発表賞選考委員会

優秀発表賞選考委員会（委員長 酒井泰弘 滋賀大学名誉教授）では、第 55 回年次大会での発表を対象とした慎重審議により、下記の会員の方々に平成 30 年度日本地域学会学会賞優秀発表賞を授与する事を決定しました。また優秀発表賞選考委員会での審議は継続しており、今後、今回の優秀発表賞受賞者の中から 1 名の最優秀発表賞受賞者が決定される予定です。最優秀発表賞の授与式は、本年の年次大会(久留米大学)で執り行われる予定です。

優秀発表賞：

坂本 大貴（豊橋技術科学大学）

主題：流域水害の経済被害と復旧プロセスに関するシミュレーション分析 ～豊川流域を対象として～

神津 慶児（豊橋技術科学大学）

主題：自動車事故の外部性と保険プレミアムの推計

KAMRUZZAMAN Mohammad Haider

(University of Tsukuba)

主題： Impacts of Fuel Tax on the Reduction of Emissions from Road Transport Sector in Bangladesh

Mohamad Safuwan bin ALIAS(University of Tsukuba)

主題： A Study on Cost-Efficiency of New Sewerage System in Terengganu

正田 遼平(北海学園大学)

主題：地方中枢都市の周辺都市への移住に関する影響要因分析

Hasleeda Kamarudin (University of Tsukuba,

(Universiti Teknologi Malaysia)

主題： Integrated Water Resources

Management Implementation for Langat and Sagami River Basins: A Comparison

3. 機関紙編集委員会報告

日本地域学会 第 61 回機関誌編集委員会

日時：平成 30 年 12 月 16 日(日) 11:00-11:40

場所：学術総合センター 2 階特別会議室 202・203 号室

出席者：多和田,松本,木南,氷鮑,内田(APJRS 担当理事),木南(莉),酒井,櫻井,渋澤,鈴木,高橋,徳永,細江,水野谷,三友,柳原,鐘ヶ江の各編集委員 (ただし戸田,野崎,吉田,阿部委員より委任上付託),小川,内藤,野崎,黛,森岡の各幹事,川本事務局秘書

議題

1. 「地域学研究」第 48 巻・第 49 巻掲載候補論文の選考

多和田編集委員長より西暦 2019(平成 31)年月分(第 48 巻第 2 号)に掲載する論文は決定しており,第 49 巻 1 号については,8 月に発行する予定との説明があり,これを諒承。また,例年の同時期と比べて採択数が若干少ない旨の説明もあった。

2. 同上機関誌印刷方針

多和田編集委員長より第 48 巻第 2 号については論文数は揃っており,2 月に発刊できる予定の説明があり,諒承された。

3. 英文学会誌 APJRS について

氷鮑企画担当理事より現在の編集状況,Online first となっている論文数,採択率等についての報告があった。また,2019 年 1 月 1 日からアクセスが有料化されるのに伴い,2018(平成 30)年度会費支払者にアソシエーションコードを送付済みである旨報告があった。これを諒承。

4. その他

慣例に従い,第 55 回年次大会の座長評価に基づき,同大会での各発表論文について「地域学研究」及び APJRS の学会誌への投稿を勧め

るか否かの判断を行った。なお、投稿を呼びかけないとは投稿拒否ではない旨の確認も行った。

細江委員から、呼びかけたものの中でどれだけ投稿しているか、投稿のうち採択の状況確認を知りたいとの意見があった。

多和田委員長及び氷鮑委員から、APJRS は学会報告が少ないが、和文誌「地域学研究」は日本人中心に学会報告しているあるものが多い(採択率も APJRS より高い)との指摘があった。また多和田委員長より、現在の年 2 号体制から再度号数を増やすのは予算的に難しい旨、「地域学研究」への投稿数がやや減少しており、今後いかに投稿数を増やしていくか考える必要がある一方で、論文の質確保のために採択率も確認する必要がある旨意見があった。

VII. 会費納入のお願い

日本地域学会会員各位

日本地域学会
会長 高橋 秀悦

謹啓 貴会員におかれましては益々御健勝のこととお喜び申し上げます。さて、早速ですが、同封致しました請求書の通り、日本地域学会 2019 年度会費をご請求申し上げますので、

納入期限 2019 年 3 月末日

までに同封の振込用紙にてお支払いいただけます様お願い申し上げます。

なお、預金口座引落としの手続きを 2019 年 3 月 17 日までに完了された方には、2019 年 6 月 27 日に請求内容にしたがって引落としを行いますのでお早めに手続きをおとり下さる様お奨め致します。また、学生会員年会費の適用には学生証(写し)の提出が必要ですので、pdf か封書にて、学会事務局までお送りください。

何かと出費のかさむ折から誠に恐縮ですが、事務処理の円滑化および再度にわたる督促の経費節減のため上記期限までの早期納入にご協力いただけますよう、かさねてお願い申し上げます。

敬具

1. 2019 年度日本地域学会会費等(適用期間限定) 2019 年度(2019 年 4 月 1 日-2020 年 3 月 31 日)

一般会員年会費 13,000 円

学生会員年会費 8,000 円

但し、これらの会費、購読料が適用されるのは、

a) 納入期限(2019 年 3 月末日)までに上記会費を納入された日本地域学会会員の方、

b) 2019 年 3 月 17 日までに預金口座引落としの手続きを完了された日本地域学会会員の方、または、

c) 4 月以降に校費(公費)から支出する事を希望し、納入期限(2019 年 3 月末日)までにその旨、および支払予定日を事務局に申し出た日本地域学会会員の方、に限りますのでご注意ください。

2. 会費の期限内納入の特典

上記納入期限に遅れた場合には、会費関連の事務処理が煩雑となることを考慮して、日本地域学会理事会では、

- 1) 一般会員年会費として 14,000 円を請求する
- 2) 学生会員年会費として 9,000 円を請求するという事を決定致しております。この主旨をご理解いただき、会費関連の事務処理の円滑化、経費節減にご協力頂けますよう、事務局からも重ねてお願い申し上げます。

3. Web 会員

本学会機関誌『地域学研究』の電子ジャーナルを、J-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)により発行しております。これにより、会員の研究成果が広く世界に向けて情報発信されております。Web 会員に登録されますと、最新の論文が電子ジャーナル(本文 PDF)として閲覧可能となります。Web 会員登録を希望される方は、学会のホームページから、電子ジャーナル『地域学研究』個人購買者認証申込書(Web 個人会員)をダウンロードしていただき、ご記入の上、事務局までお申し込みください。

Web 会員価格(2019 年 4 月 1 日-2020 年 3

月 31 日) は以下のようになります。

- 1) 学会正会員である個人 (Web 個人会員 A) 年会費 2,000 円
- 2) 学会非会員である個人 (Web 個人会員 B)* 年会費 5,000 円
- 3) 本学会法人会員である団体もしくは機関 (Web 機関会員 A) 年会費 10,000 円
- 4) 本学非会法人会員である団体もしくは機関 (Web 機関会員 B)* 年会費 40,000 円

* Web 個人会員 B と Web 機関会員 B は、電子ジャーナル閲覧のみのサービスとなります。

4. RSAI (国際地域学会) への会員登録について

平成 23 年度から RSAI (国際地域学会) への会員登録の方法が変更になっております。従来より日本地域学会の会員は自動的に RSAI (国際地域学会) の会員として登録されておりましたが、会員の増加に伴う国際本部事務局の負担を軽減するため、会員情報を電子メールアドレスで管理する事になりました。したがって、会費を納入することに加え、電子メールアドレスを日本地域学会事務局に登録することが必要となります。今後も引き続き RSAI (国際地域学会) の会員となることを希望される会員で、電子メールアドレスを日本地域学会事務局に登録されていない方は、会費の納入に合わせて電子メールアドレスを事務局にお知らせください。また RSAI への電子メールアドレスの通知に同意されない方は、日本地域学会事務局にその旨、お知らせください。

VIII. 国際地域学会関連会議のお知らせ

16th PRSCO Summer Institute 2019 がタイバンコクで開催されます。

会員諸賢におかれましては奮ってご参加ください。

16th PRSCO Summer Institute 2019

開催日：2019 年 7 月 25 日(木)～27 日(土)

開催地：Bangkok, Thailand

会場：Chulalongkorn University

アブストラクト 提出締切：2019 年 3 月 15 日
大会ホームページ：

<http://www.th-rsai.org/prsco-2019/>

PRSCO ホームページ：<http://www.prsco.info>

IX. 学会賞候補者推薦の募集

日本地域学会では、地域科学 (Regional Science) の発展に貢献する優れた会員の業績をたたえる為、日本地域学会学会賞を毎年授与しています。今年度も第 28 回日本地域学会学会賞授賞選考候補者の推薦の募集を行いますので、どうか奮ってご応募下さい。学会賞は以下の各賞からなります。

功績賞：地域科学の進歩および学会の運営に顕著な貢献をなした会員を表彰する。

論文賞：すぐれた研究論文によって地域科学の発展に著しく寄与し、研究業績の意義や貢献が多岐である会員を表彰する。

奨励賞：若手研究者ですぐれた研究論文を発表した会員を表彰する。

著作賞：地域科学の発展に著しく寄与し、その意義や貢献が多岐である著作物を表彰する。

学位論文賞：本学会会員である博士または修士課程修了者がその修了要件として提出したすぐれた学位論文を表彰する。

優秀発表賞：年次大会においてすぐれた論文発表を行った会員に優秀発表賞を授与する。このうち最も優秀な論文発表を行った会員に最優秀発表賞を授与する。

功績賞・論文賞・奨励賞・最優秀発表賞受賞者には賞状とメダルが、著作賞・学位論文賞・優秀発表賞受賞者には賞状が授与されます。

第 28 回日本地域学会学会賞 授賞選考候補者推薦応募要領

◇応募期限：

1) 功績賞・論文賞・奨励賞・著作賞・学位論文賞

2019年4月3日(水)(事務局必着)

2) 優秀発表賞

2019年4月26日(金)(年次大会発表申し込みと同時に、事務局必着)

◇応募方法: 功績賞への応募は他薦のみ、優秀発表賞への応募は自薦のみですが、その他への応募は自薦、他薦を問いません。専用の応募用紙を事務局に提出して下さい。

◇推薦資格: 推薦者は、日本地域学会会員であることが必要です。

◇受賞資格等:

1) 論文賞および奨励賞の表彰対象となる研究業績は、過去2年間(暦年)に発表したもので、その主たるものが本学会関連誌『地域学研究 (Studies in Regional Science)』, Papers in Regional Science of the RSAI, Asia-Pacific Journal of Regional Science (APJRS) のいずれかに掲載されている論文であることが条件です。

2) 奨励賞の応募については、年齢がその表彰対象となるべき主たる研究業績の発表当時 35 才未満であった事が必要です。

3) 著作賞の表彰対象となる著作物については、過去2年以内に出版もしくは公表された研究図書であることが条件です。

4) 学位論文賞については、表彰の時点において修了後3年以内のもので、当該学位論文に関連した学術論文を本学会の学術セッションで発表しているか、または本学会機関誌『地域学研究』あるいはこれに準ずる専門誌に掲載または掲載可として受理されていることが条件となります。なお、年齢による制限はありません。

5) 優秀発表賞については、以下のいずれかである必要があります。①授賞対象となる論文発表の年度末において30歳以下である会員、②授賞対象となる論文発表時において大学院に在籍する会員、③年次大会の Early-bird Session (アーリー・バードセッション) で発表する会員であり、理事会がその表彰を適当と認めた会員。更に

いずれの場合も、対象となる論文の第一著者であり、かつ年次大会当日に口頭発表を行う本人である必要があります。

◇選考方法: 「日本地域学会学会賞(奨励賞・論文賞・功績賞)に関する規程」、「日本地域学会著作賞に関する規程」、「日本地域学会学会賞学位論文賞規程」、「日本地域学会学会賞優秀発表賞規程」に基づく選考委員会の審議による。決定次第、受賞者には連絡します。

◇授賞式: 第56回年次大会における総会(2019年9月 久留米大学)にて執り行います。最優秀発表賞については、翌年の年次大会で執り行います。

◇応募用紙の請求: 日本地域学会事務局まで賞の種別を明記してご請求下さい。優秀発表賞については、年次大会発表申込用紙中に応募欄があります。

X. 会員の移動

平成29年10月7日～平成30年10月7日

新入会員

正会員 31名

浅田 英克(経済協力開発機構)

阿部 尚行(経済産業省)

伊藤 大輔(中部瓦斯株式会社)

伊藤 瑞子(福岡女子大学)

宇都宮 仁(新潟産業大学)

恵比寿 美和(首都大学東京)

大西 学(名古屋外国語大学)

川廷 昌弘(株式会社博報堂)

神津 慶児(豊橋技術科学大学)

坂井原 直樹(豊橋技術科学大学)

坂西 明子(立命館大学)

坂本 大貴(豊橋技術科学大学)

櫻木 理江(福岡女子大学)

佐々木 嶺(和歌山大学)

正田 遼平(北海学園大学)

杉木 直(豊橋技術科学大学)

瀧谷 大登(関西大学)
竹内 彩乃(東邦大学)
平野 実良(新潟産業大学)
藤井 孝宗(高崎経済大学)
藤岡 正樹(高知大学)
松尾 幸二郎(豊橋技術科学大学)
松島 恭範(東洋大学)
山口 尚孝(独立行政法人国際協力機構)
山崎 義広(新潟大学)
Ahamed Tofael(筑波大学)
Armis Roni(立命館大学)
Kamarudin Hasleeda Binti(筑波大学)
KAMRUZZAMAN Mohammad Haider(筑波大学)
Sari Kartika Puspita(立命館大学)

退会会員

正会員 42名

石川 満寿夫

石村 知子

和泉 潤

伊藤 大輔

井上 夕葵

上林 篤幸

尾崎 雅彦

衣笠 達夫

小林 潔司

近藤 仁

酒井 彰

菅原 喬史

高山 宗浩

高崎 晴夫

高橋 楓露

土屋 信夫

仲上 健一

永松 俊雄

中村 俊彦

幡谷 祐一

福岡 克也

藤井 秀昭

藤居 良夫

古川 明美

細田 隆

堀後 達紀

松村 有二

三穂 健太

宮田 譲

村山 祐司

山内 繁樹

山岸 実奈

山中 守

山根 亨

吉本 諭

銭 学鹏

鄭 小平

黄 國光

李 照令

MD. Zia Uddin

Nasanjargal Naranbat

Outhevy Vongmany

会員数

個人会員 1,037名

法人会員 6団体

『地域学研究』バックナンバー/ 定期講読申込書

宛先: 筑波大学生命環境系水野谷研究室

〒305-8572 つくば市天王台 1-1-1

tel +81-29-853-7221 (fax)

日本地域学会事務局 御中

日本地域学会機関誌の定期講読を申込ます (8,000 円/ 年)。(PRINT ISSN: 0287-6256)

下記のとおり, 日本地域学会機関誌のバックナンバーを申込ます。

平成 年 月 日 氏名:

印

所属:

住所:

電話, fax:

E-mail:

記念事業セット販売					
フルセット:『地域学会年報(1-6号)』+『地域学研究(第1-48巻)』			591,200円		
セミセット:『地域学研究(第1-48巻)』			561,200円		
			小計		円
『地域学会年報』(第1-6号)					
1号 10,300円		2号 10,300円		3号 10,300円	
4号 10,300円		5号 10,300円		6号 10,300円	
『地域学研究』(第1-19巻)					
第1巻 8,000円		第2巻 8,000円		第3巻 8,000円	
第4巻 8,000円		第5巻 8,000円		第6巻 8,000円	
第7巻 8,000円		第8巻 8,000円		第9巻 8,000円	
第10巻 8,000円		第11巻 10,000円		第12巻 10,000円	
第13巻 8,000円		第14巻 8,000円		第15巻 10,000円	
第16巻 8,000円		第17巻 10,000円		第18巻 10,000円	
第19巻 9,400円					
『地域学研究』(第20-28巻) no.1,no.2					
第20巻no.1 9,000円		第20巻no.2 3,500円		第21巻no.1 10,000円	
第21巻no.2 3,500円		第22巻no.1 10,000円		第22巻no.2 3,500円	
第23巻no.1 10,000円		第23巻no.2 3,500円		第24巻no.1 10,000円	
第24巻no.2 3,500円		第25巻no.1 10,000円		第25巻no.2 3,500円	
第26巻no.1 10,000円		第26巻no.2 3,500円		第27巻no.1 10,000円	
第27巻no.2 3,500円		第28巻no.1 10,000円		第28巻no.2 3,500円	
『地域学研究』(第29巻-)no.1,no.2,no.3					
第29巻no.1 7,000円		第29巻no.2 3,500円		第29巻no.3 7,000円	
第30巻no.1 7,000円		第30巻no.2 3,500円		第30巻no.3 7,000円	
第31巻no.1 7,000円		第31巻no.2 3,500円		第31巻no.3 7,000円	
第32巻no.1 7,000円		第32巻no.2 3,500円		第32巻no.3 7,000円	
第33巻no.1 7,000円		第33巻no.2 3,500円		第33巻no.3 7,000円	
第34巻no.1 7,000円		第34巻no.2 3,500円		第34巻no.3 7,000円	
『地域学研究』(第35巻-)1ボリューム4冊一括販売 16,000円; 8,000円/冊					
第35巻no.1		第35巻no.2		第35巻no.3	
第36巻no.1		第36巻no.2		第36巻no.3	
第37巻no.1		第37巻no.2		第37巻no.3	
第38巻no.1		第38巻no.2		第38巻no.3	
第39巻no.1		第39巻no.2		第39巻no.3	
第40巻no.1		第40巻no.2		第40巻no.3	
第41巻no.1		第41巻no.2		第41巻no.3	
第42巻no.1		第42巻no.2		第42巻no.3	
第43巻no.1		第43巻no.2		第43巻no.3	
第44巻no.1		第44巻no.2		第44巻no.3	
第45巻no.1		第45巻no.2		第45巻no.3	
第46巻no.1		第46巻no.2		第46巻no.3	
『地域学研究』(第47巻-)1ボリューム2冊一括販売 8,000円; 6,000円/冊					
第47巻no.1		第47巻no.2		第48巻no.1	
					第48巻no.2

購入総額合計 _____ 円

※ 申込該当箇所には○をする。□にはチェックする。

機関購入の場合は, 氏名, 所属に見積り, 納品, 請求書宛名機関名等を記入, 責任者押印 以上

平成 29 年 12 月 17 日改定

日本地域学会 正会員 入会申込書

20 年 月 日

日本地域学会
会長 高橋 秀悦 殿

日本地域学会 会則第5条に定める正会員として下記の通り入会を申し込みます。

氏名： 印

記

ふりがな			年 月 日生	歳 ※男・女
氏名			同英文 (last name, first name)	
所属先	機関名			同英文
		(年 月より)		
	所属			同英文
	職名			同英文
	所在地	〒		同英文
	電話： ()		fax: ()	
	e-mail			
自宅	住所	〒 配送希望先 ※勤務先・自宅		同英文
		電話： ()		fax: ()
		e-mail		
学歴	年 月入学 年 月※卒業・修了・満期退学			
職歴	年 月			
	年 月			
	年 月			
	年 月			
専門分野	専攻：		学位： (大学)	
	<i>Regional Science Association International (RSAI)</i> の研究領域分類 (複数回答可, 入会案内参照)			
	I. ISSUE ORIENTATION		II. THEORETICAL/METHOD-LOGICAL ORIENTATION	
	III. MODE OF ANALYSIS		IV. REGIONAL FOCUS	
所属他学会				
紹介者 (会員に限る)		印		

以上 (※は該当項目に○をする)

事務局記入欄	入会承認	年 月 日 第 回理事会	退会承認	年 月 日 第 回理事会
--------	------	--------------	------	--------------

MEMO

MEMO
